公益社団法人

隊友船橋だより

平成２９年9月号　発行：千葉県隊友会　船橋支部事務局

「一般曹候補生受験五名を富士総合火力演習見学支援」

今年で 4 回目の入隊希望者の富士総合火力演習見学の支援をした。習志野駐屯地前 4 時集合の計画で待ち合わせ、村上団地から１時間かけて徒歩、八千代から自転車、市川、浦安からは広報担当者の車で送ってきてもらう等で３時半には全員集合完了した。予定より早く３時４５分星空の下、畑岡駐車場に向かった。途中、海老名で小休止、御殿場インターから一般道路へ、渋滞なくスムーズなドライブ、前方に見える富士山は裾野から頂上まで雲ひとつなく美しい姿を見せていた。「今日は熱中症対策が必要だ。帽子やタオル、飲料水の準備と、体調がおかしくなったら救護所に赤十字の旗が立っているので遠慮しないで駆け込む」等と話しながら、畑岡駐車場に６時１０分到着。私達より先に到着した他県から５０台程の車が駐車していた。太陽が出てくると日差しは肌を突き刺すようであるが微風が爽やかであった。五人はシャトルバスに乗って会場に移動、スタンド席は満席、シート席の前の方に陣取って１０時の開始まで時間をそれぞれが過ごした。予定通り、演習は１０時開始され１２時終了。１４時、帰途についた。途中、足柄で遅い昼食休憩の予定が、総火演の帰りの人達でいっぱい。食料を購入し早々に出発した。海老名サービスエリア出口付近で事故渋滞に遭遇１時間ほどノロノロ運転、首都高の渋滞はなく電車で帰る３名を船橋駅で、１９時習志野駐屯地に無事到着し自転車とバスで帰る 2 名をおろし解散した。感想文を送ってくれたので紹介します。

市川市在住、稲葉銀河君

富士総合火力演習ではとてもお世話になりました。有難うございました。

私は、陸上自衛隊の持つ戦闘機の中では AH-1S ヒュイコブラとアパッチがとても好きなので演習で登場してきたときはとても嬉しかったです。他にも、隊員が空から落下してくる所がとてもかっこよかったです。

浦安在住　髙橋直樹君

始めて自衛隊の大きなイベントに参加させていただきました。小さい頃から戦う兵隊さんとか大好きで一度は総火演に参加してみたいなーと思っていたので今回行けて本当に嬉しかったです。実際、生で見るとどれも迫力満点で凄かったです。戦車が砲台を打った時に感じる肌の震え、そしてヘリが３０ミリを撃った時の背中がゾクゾクする感じがたまらないです。それに空挺団の方々も綺麗に着地して凄かったです。より一層自衛隊に行きたいという気持ちが強くなりました。本当に今回はありがとうございました。

浦安在住　原尾智也君

私は、今回初めて総合火力演習を見ました。はじめ現地についた時ものすごう音が聞こえました。それは砲撃の音でした。初めて本当の砲撃の音を聞き初めに思ったことは驚きでした。テレビや動画で聞いてきた音と違い体の内に響くような音でした。会場に着きしばらくすると演習が始まりました。その演習では様々なことをしていました。その中で特に印象に残っているのは、１０式戦車等の戦車火力です。重々しく素早く移動しながらの砲撃や急停止からの砲撃がとても素晴らしかったです。私は今回の富士総合火力演習に行き、この日本を守る自衛隊が前よりも、もっと好きになりました。私も彼らのように強くありたいです。

八千代市在住　加藤雅人君

昨日は大変お世話になりました。加藤雅人です。黙々と勉強を続ける日々の中、何処か漫然としてきてしまった自衛官になるというイメージが、昨日の総火演で鮮明になり、勉強への意欲が増しました。貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございます。早速ですが総火演の感想を以下に述べさせていただきます。

総火演を見学して

私は近々自衛官の試験を受けるので、総火演の見学を希望した。兵器や自衛官のどの様なところに魅力を感じるか、面接で詳しく述べられるようになると考えたからだ。しかし、いざ戦車の砲撃を前にしてみると、すごい以外の感想が思いつかず、さらなる語彙力低下を招いた。地が揺れ動き耳を貫くような砲撃の迫力は言葉に言い表せず、映像では決して伝わらない素晴らしいものであった。そして、もう一つ感じたことは本来は人を殺め、脅かすはずの砲撃や射撃に皆が拍手や歓声を送る不思議な空気だ。兵器を平和に楽しめるということは本当に素晴らしいことだと思う。世界情勢や争いの絶えない現実みれば甘い虚言かもしれないが、私はこの国の兵器や自衛官の方々が、国民から賛美の拍手を受け続ける存在であり続けてほしいと思う。

八千代市在住　米山陽祐君

おはようございます。こないだは車を出してくださってありがとうございました。火力演習でみたものはとても感激でした。

感想　私は富士総合火力演習を始めてみました。総火演とはどういうものなのかとても楽しみにしておりました。私の家は習志野駐屯地近くに住んでおり、何時も銃弾の音やヘリコプターの音など聞いておりましたが、総火演に行き生で見るものでは、ものすごい迫力でした。何よりも振動や砲撃音がすごく感激を受けました。そして隊員の戦車や銃撃の精密度、正確さにとても感動しました。この総火演で見たものは一生忘れることなく私のこれからの人生に強い刺激を与えてくれると思いますし、自衛隊員のような強い志を持ってこれからも頑張っていきたいと思います。以上感想となります宜しくお願いします。

原文のまま紹介しました。後に続く若者を見守って下さい（事務局）

6月7日船橋支部活動「嗚呼海軍七勇殉難の碑」の清掃作業に参加して

初めて海軍七勇殉難の碑の清掃作業に参加させていただきましたが、私自身、船橋に居住して24年になりますが、この様な慰霊碑が大穴にあることは知りませんでした。手鎌での作業でしたが、当日は朝から気温も高くなく程よい運動になりました。何処をどの程度刈るのか解らず他の会員を見ながら作業していて、何か35年前の新隊員時代に土曜日が半ドンの時に中隊でよく行った習志野演習場整備を思い出し懐かしい気持ちになりました。作業最期に慰霊のお線香をたいて念仏を唱え終了。合唱しながら思うにラバウルから帰還し、飛行訓練をしていた若い飛行兵は、まさかこんな田園の近くの山林で墜落して死ぬとは思っていなかったでしょう。その訓練事故を戦時中だと軍機密と処理した海軍、それに対して慰霊碑を立てた当地の住民、終戦を迎えGHQ占領下から昭和39年まで土中に埋もれていたそうですが、「故意に埋められたのかもしれないなあ」とも考えました。今日の平和の繁栄は、この様な方々の尊い犠牲の上に成り立っているものであり、戦争を知らない世代が多くなっていく中で、悲惨な出来事を風化させないためにも、こうした慰霊碑を大事にお守りし、後世に伝えていくことが大切であると感じ、良い一日となりました。今後とも、できる限り参加させていただけたらと思います。隊友会の皆さんお疲れ様でした。（高根分会　宮嶋）

「嗚呼海軍七勇殉職の碑」の清掃と慰霊供養は１１月２７日です。初めてご協力して頂ける方は門脇副支部長までお問い合わせください。（事務局）

「ありがとう自衛隊」の声を広め自衛隊を憲法に明記しよう！の時代、街頭ビラ配り“

8月8日（火）9時半から10時半　船橋グランドホテルで「船橋市憲法改正推進市民の会発足式」が行われ、支部から小渕千葉県会長（兼船橋支部員）はじめ、富田千葉県前々会長、小倉、横洲、河野、丸山、窪、門脇各理事が参加した。

10時半から1時間半　東日本大地震時　陸幕長として戦（いくさ）の指揮を執った　火箱芳文氏の貴重な体験と「明日の防衛に向けて、自衛隊とは何か、憲法を改正して国軍に、適切な国防体制のあり方とは」などについて講話があり、参加者から盛大な拍手を受け、発足式の意義に花を添えられた。

これらが終了した後、「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の皆さんが船橋駅北口前で街頭演説とビラ配りをする中、支部の会員も参加し市民の皆さんに理解を求めるためにビラ配りの応援した。

ビラ配り応援者　左から窪理事、丸山理事、門脇理事